

グリーンフラッグ 9月の活動

～ 新学期のスタートです ～



8月30日より2学期がスタートしました。夏休みの間、畑の作物も、相川の森も中庭の木々も子ども達の登校を待っていたようです。

4年生は、恒例のカボチャジャンケンをおこない収穫したカボチャを分けました。しかし、今年は一人ひとつとはいきませんでした。冷夏の影響は、相川小学校の畑にもあったようです。数は少なかったのですが、大きさは申し分ありません。大きなカボチャは半分に、坊ちゃんカボチャはひとつずつ、先生とジャンケンをしながら勝った順にカボチャを選んで 家に持ち帰って行きました。ただ、

畑では、ひと足先に味見をしていた生きものがいたようです。誰かなー？ タヌキか！？



～ 水の中の生きもの探し ～

1・2年生は、身近にある相模川の生き物を採取して、どんな生き物がいるのか、その生き物がいることで、川がどんな環境なのかを学びました。

講師は、横浜市にある「こども自然公園」を管理しつつ、周辺地域の自然を活用して自然体験を実施している「どろんこクラブ」というNPO法人の4名の方です。

早速、子ども達は、川の中での安全な学習の仕方、生き物のとり方を教わりました。持ってきてくださったたくさんのバケツや専用の網を手に取り採取開始です。

1・2年生の冒険隊のグループで行動し始める時さすが2年生、1年生をしっかりリードして生き物をとっていきました。「どろんこクラブ」の方々が驚くほど、たくさんの種類の小魚やエビ、カニ、水生昆虫を採取することができました。とった生き物はバケツに種類ごとに分けて学校に持ち帰りました。子ども達はその生き物ひとつひとつに目を輝かせ、バケツを食い入るように見ていました。特にびっくりしたのは、大きなブラックバスがいたこと。ブラックバスは、急速に生息数を伸ばした外来種の魚です。ミシシッピーアカミミガメも見られました。こんな近くにも見られるということは、この地域にいた在来種がその数を減らしているということにもなります。自然界に放たれた生き物は植物より駆除が難しいことが分かったのではないのでしょうか。生き物のすみかを守るために何ができるのかを考えていきたいと思えます。



大きなブラックバス



土手を下って川の中に



モクスガニ